

意見概要及び事務局対応案

都市像Ⅲ 日本海拠点の活力を世界とつなぐ、創造交流都市
政策⑨「雇用が生まれ活力があふれる拠点」

【対応案】①素案を修正する。
②素案のとおりとする。(実施計画・分野別計画などでの対応を含む)
③その他(検討等)

資料1

項目	番号	意見概要	素案 P	事務局対応案	
				対応案	理由
8年後の姿	1	「魅力的な雇用の場」について、新潟市が考えている産業などをもう少し具体的に表記することで、イメージしやすくしてはどうか。	103	①	さまざまな方が働きがいをもっていただける場を「魅力的な雇用の場」という言葉で表しました。表記については、《8年後の姿》の中に「さまざまな方が働きがいをもてる」など記載について検討します。
現状と課題	1	施策27成長産業の育成の中に、航空機産業やニューフードバレーが記載されている背景を「現状と課題」に、これまでの取組みのNIIGATA SKY PROJECTなどを具体的に記載することで、より分かりやすい計画になるのではないか。	103	①	分かりやすい計画とするため、施策27「成長産業の育成」の背景として「現状と課題」の中に、航空機産業においては、機械・金属関連産業の集積地であるなどのポテンシャルを表記及び図示することについて検討します。
施策27	1	ニューフードバレー構想は、農業だけではなく、食品関連産業全体に波及することが考えられることから、より分かりやすくするため、食品・医薬品・雑貨品といった具体的な文言を記載してはどうか。	104	①	
	2	施策27「成長産業の育成」について、新潟の信濃川をはじめとした自然などの地域資源を活かした観光産業について記載してはどうか。	104	①	本市の特徴やポテンシャルを活かしたニューフードバレーや航空機産業などの成長産業を育成することで、ご指摘のとおり、食品をはじめ観光産業などさまざまな分野に波及することが考えられることから、施策27「成長産業の育成」の中に「成長産業を育成することで、さまざまな分野に経済効果を波及させ」など記載について検討します。
	3	航空機産業の文言について、「機械・金属分野の広範な波及が期待できる」といった限定的な表現であることから、サービス業も含めた「本市の潜在力を活かした」といった表現に修正してはどうか。	104	①	
	4	ニューフードバレーをさらに推進するため、人づくりが大切なことから、市民1人ひとりが農業や自然に親しむ機会を増やす取り組みを実施してはどうか。	104	②	ニューフードバレーを推進するためには、人づくりの視点が重要と考えており、施策8「自分の力に自信をもつ心豊かな子どもを育む学校教育の推進」、施策14「食と農を通じた地域づくり」などを中心に掲載しております。 また、農業や自然に親しむ機会の創出など具体的な内容については、実施計画・分野別計画の中で検討します。
施策28	1	《現状と課題》のグラフ記載の20～24歳人口の流出超過を改善するためには、「マンガ、アニメ」関連産業など新たな領域開拓が必要であり、高等教育機関の強みと市の施策を連携させることが重要。	104	①	新産業の創出をしっかりと雇用に結び付けるためには、高等教育機関と市の連携が重要と考えていることから、施策28「内発型産業の育成・創業支援」について「産学官連携などによる新産業の創出に努め、雇用の場の安定を図ります」など記載について検討します。
	2	創業支援が雇用の場の安定に結びつくことについて、もう少しわかりやすく記載してはどうか。	104	①	施策28「内発型産業の育成・創業支援」に記載の創業支援の部分を分割し、新たにクロポチを設け「新たに事業を行う起業家や創業者を支援することで創業しやすく、その後の安定的な経営が継続できる環境づくりを一体的に取り組むことで、雇用の創出を図ります」など記載について検討します。
全体	1	第1回部会の市長説明において、「10次産業」という発言があったことから、素案も連動させ、施策の中に「6次産業または10次産業」と記載してはどうか。	-	①	6次産業化に新たな要素を加え、新しい価値を創造する「10次産業」については、素案全体の中で表記について検討します。